

第12回  
熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会

平成25年2月5日（火）

# 熊本駅周辺整備について

- ◆ 駅周辺整備に向けての流れ(抜粋)
- ◆ 駅周辺整備スケジュール
- ◆ 現在までの公共工事等の整備状況
- ◆ 新幹線開業・駅周辺の公共事業等の効果
- ◆ 開業後の住民アンケート調査結果

# 駅周辺整備に向けての流れ(抜粋)

平成17年/6 「JR鹿児島本線鉄道高架及び熊本駅周辺等の  
整備に関する協定」(県市協定)

**県と市の役割分担、費用負担など**

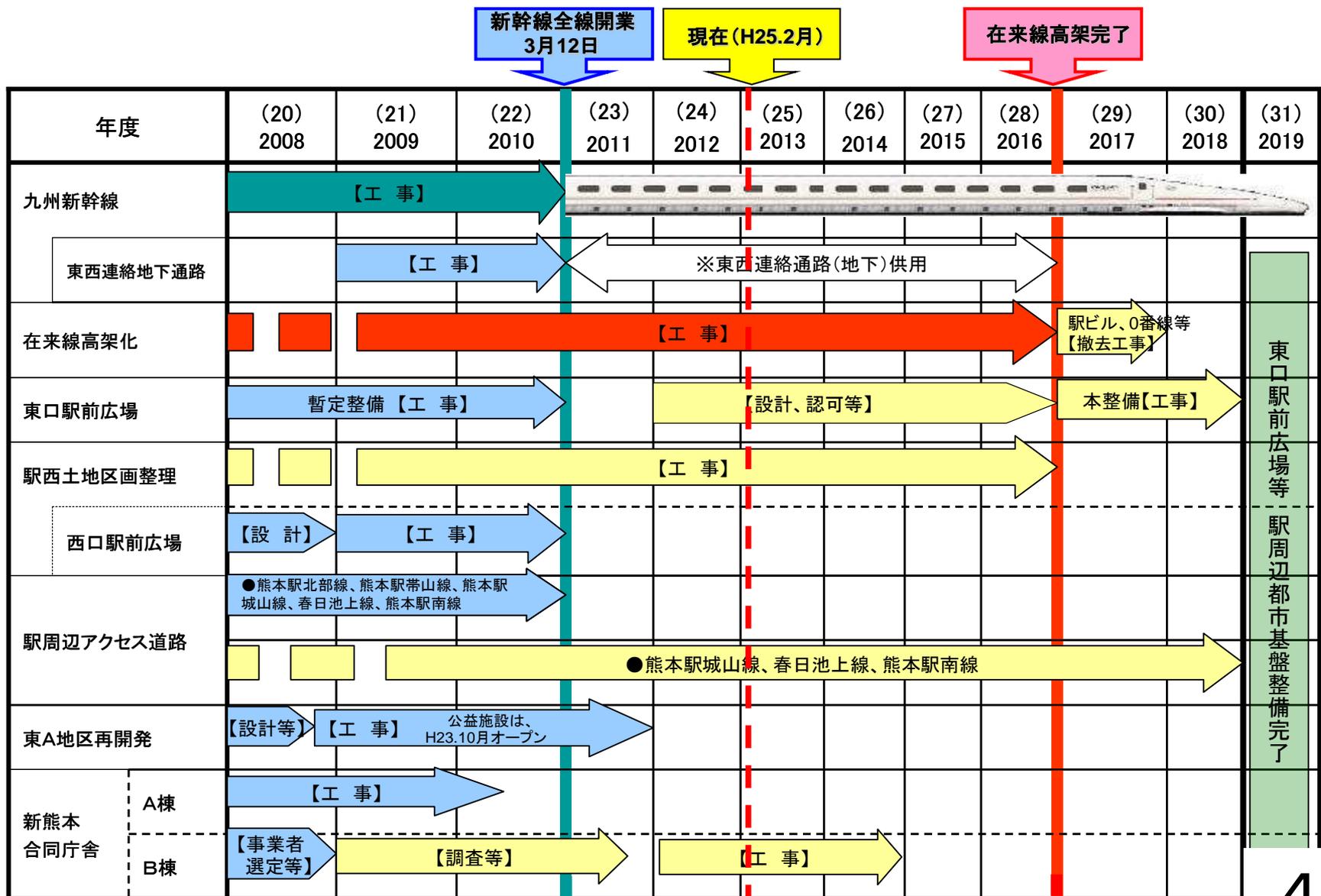
平成17年/6 「熊本駅周辺地域整備基本計画」策定公表

**将来のビジョン、基本方針など**

平成18年/10 「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」設置

**事業間連携や協議・調整を行い、  
駅周辺のデザインの統一性を図る。**

# 駅周辺整備スケジュール



東口駅前広場等  
駅周辺都市基盤整備完了

# ◆現在までの公共工事等の整備状況

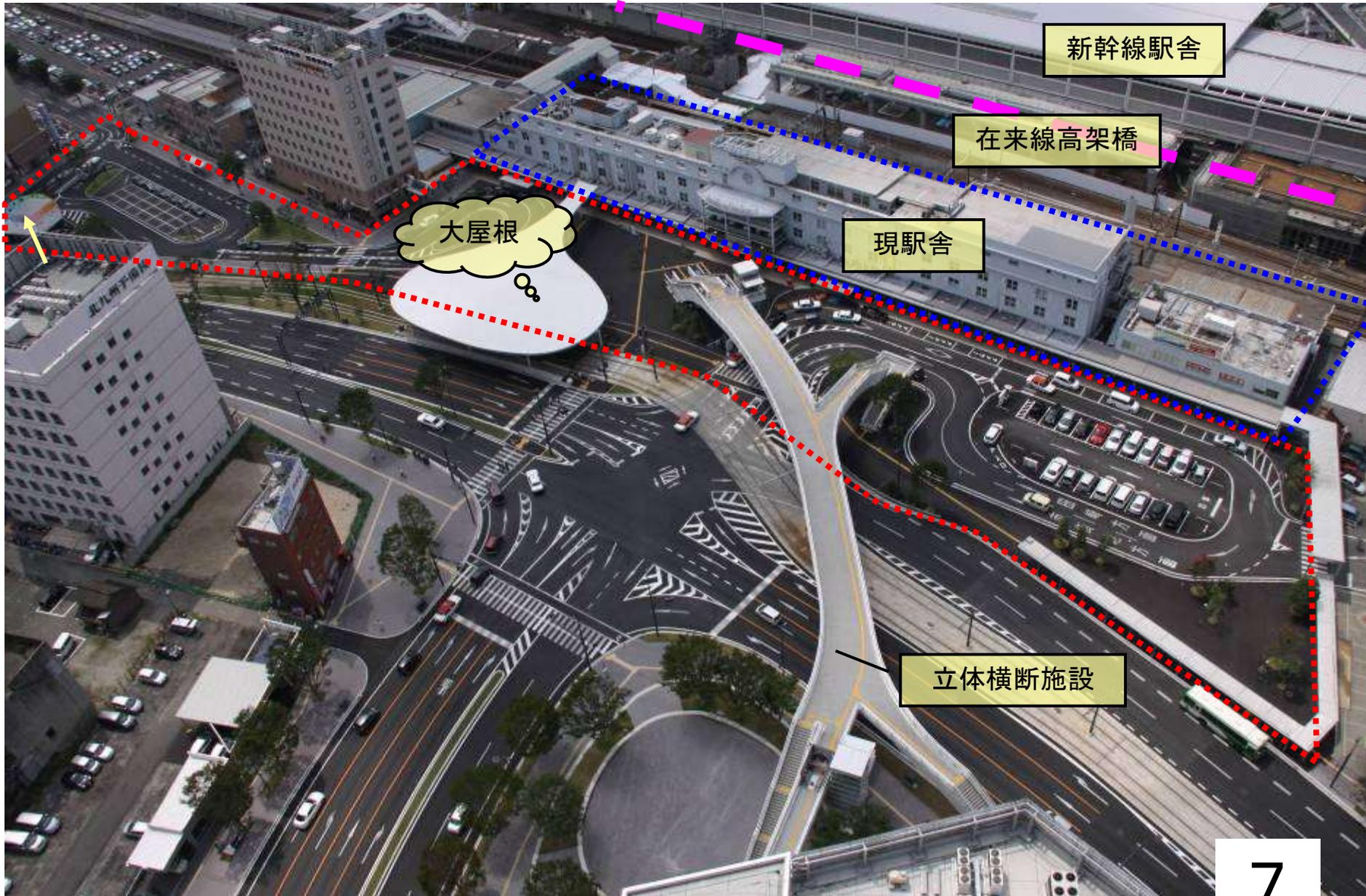
# 熊本駅新幹線口（西口）駅前広場/九州新幹線熊本駅舎

H23.3月竣工

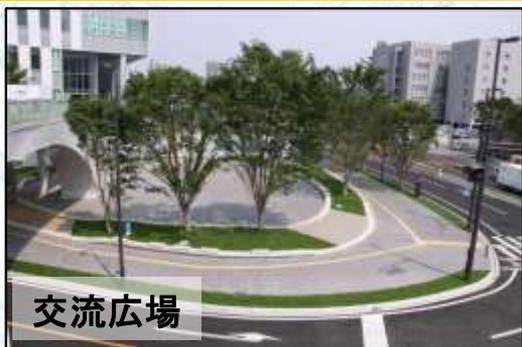


親水施設

# 白川口（東口）駅前広場〈暫定整備〉



# 街路事業 熊本駅帯山線（産業道路）



# (街) 熊本駅城山線ノ市電サイドリザベーション・軌道敷緑化

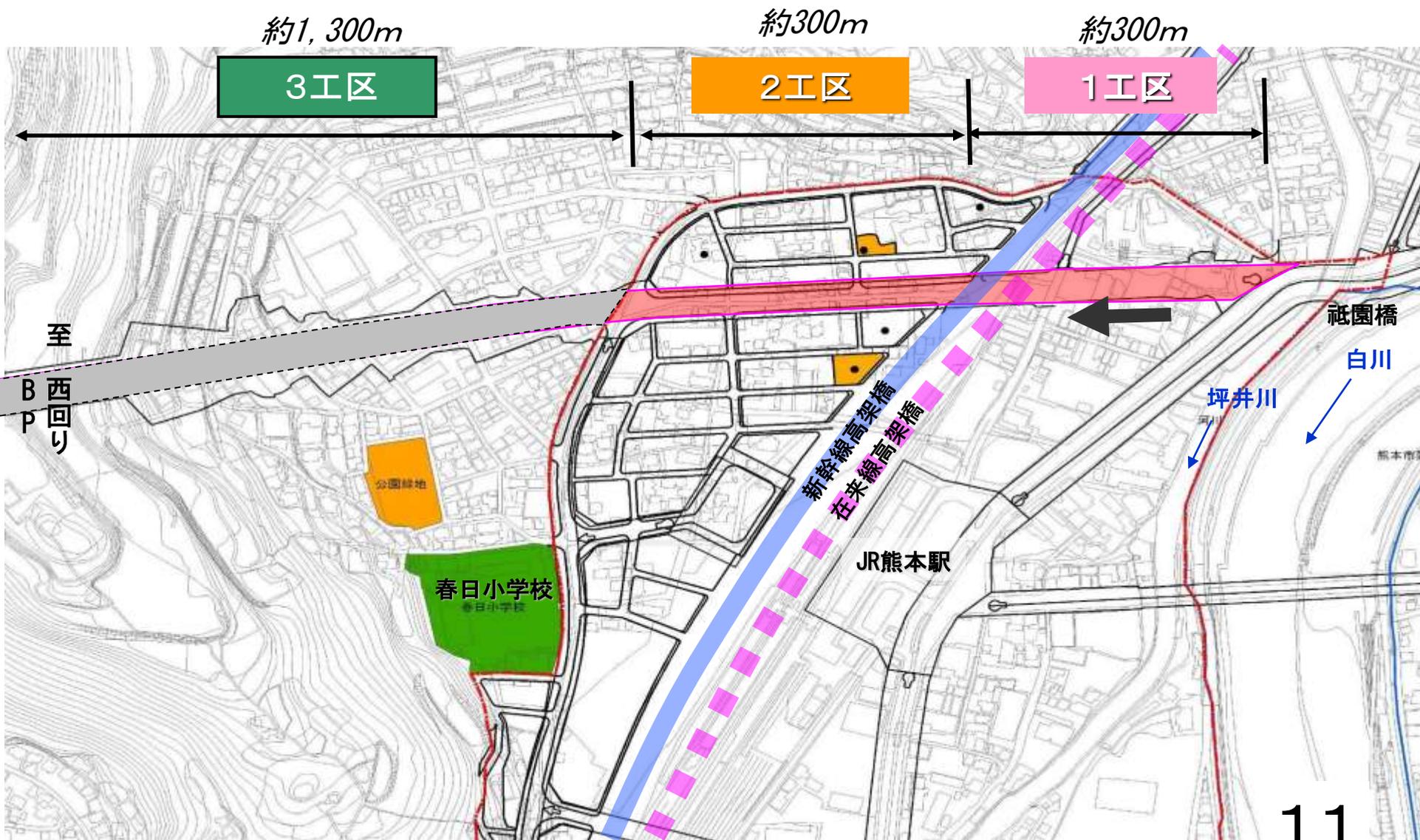
## ■整備後の状況



(街) 熊本駅城山線／市電サイドリザベーション・軌道敷緑化



# 都市計画道路 春日池上線



# 都市計画道路 春日池上線 < 1・2・3工区 >



12

H25年1月撮影





2F



観光・郷土情報センター

3F



プラザ図書館

4F



プラザ図書館

5F



プラザホール



# 熊本駅西土地区画整理事業

春日第一団地



新幹線駅舎と西口駅前広場



春日第二団地



平成23.3月撮影

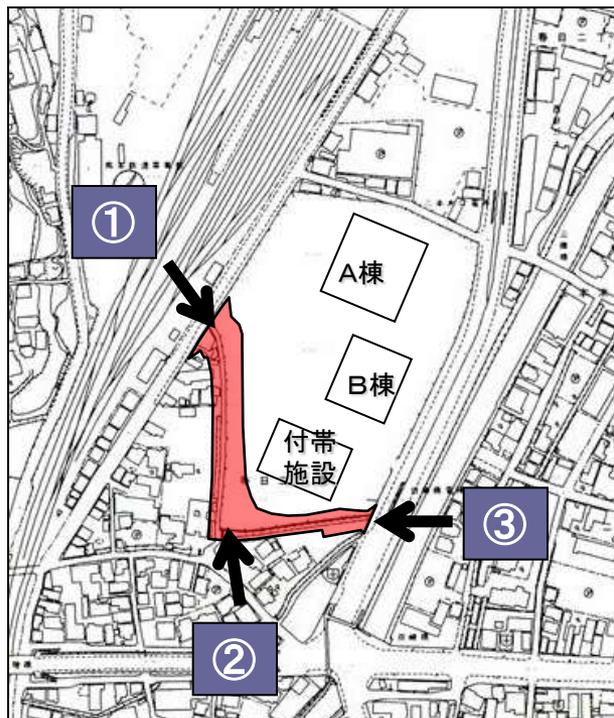
公共減歩率 : 36.18%

減価補償による  
用地買収後の減歩率 : 19.81%

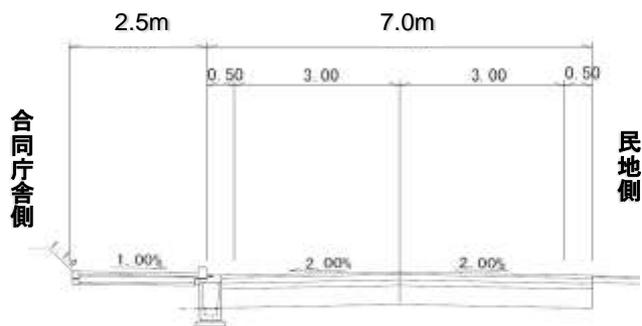
公共用地: 14.8% ⇒ 45.6%  
(従前) ⇒ (事業後)

# (道路事業) 合同庁舎南側市道

H25.2月供用開始



【標準断面図】



①整備前



①整備後



②整備前



②整備後



③整備前



③整備後





# 白川河川敷利活用計画

H23.3月竣工



# 白川河川敷利活用計画 〈整備後／白川橋上流左岸〉



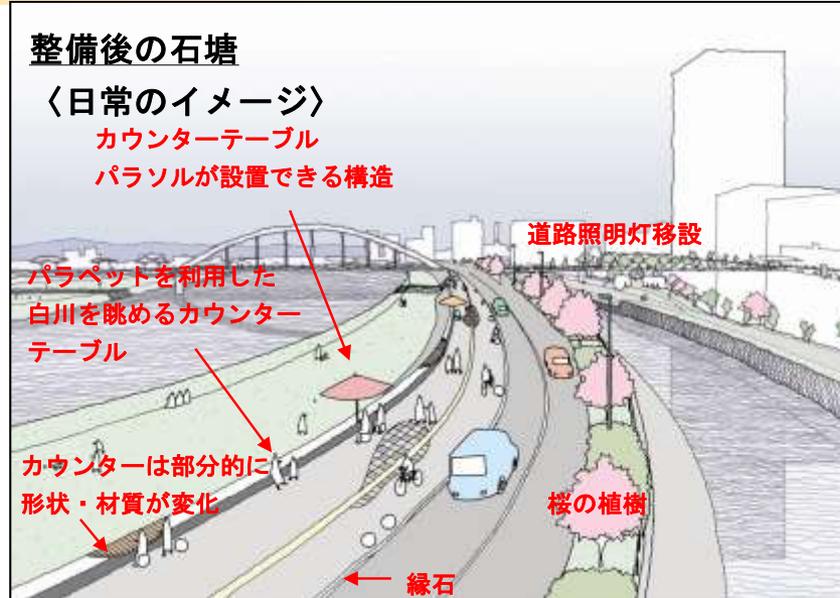
**熊本市二本木の坪井川-白川間 「石塘」イベント空間に**

県と熊本市が同市二本木の坪井川と白川の間にある道路（背割堤）をイベント開催が可能な空間として環境整備することが16日、分かった。JR熊本駅周辺整備の一環。歩道の植樹帯を全面撤去し、イベント時に仮設店舗を設置できるスペースを確保する。2月に着工し、5月完成予定。

**県市が整備 5月完成予定**

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に向け、県と市が2005年に策定した熊本駅周辺地域整備基本計画に「整備される背割堤区画」と呼ばれる区画。背割堤間の市道約300m区間、2車線の車道（幅6・5m）と歩道（幅5m）に分かれており、このうち歩道西側にある植樹帯（100m）を撤去し、舗装を撤去。歩道の一部盛り上がりしている部分も平らにし、イベント時には車道と一体となった空間として活用できるようにする。

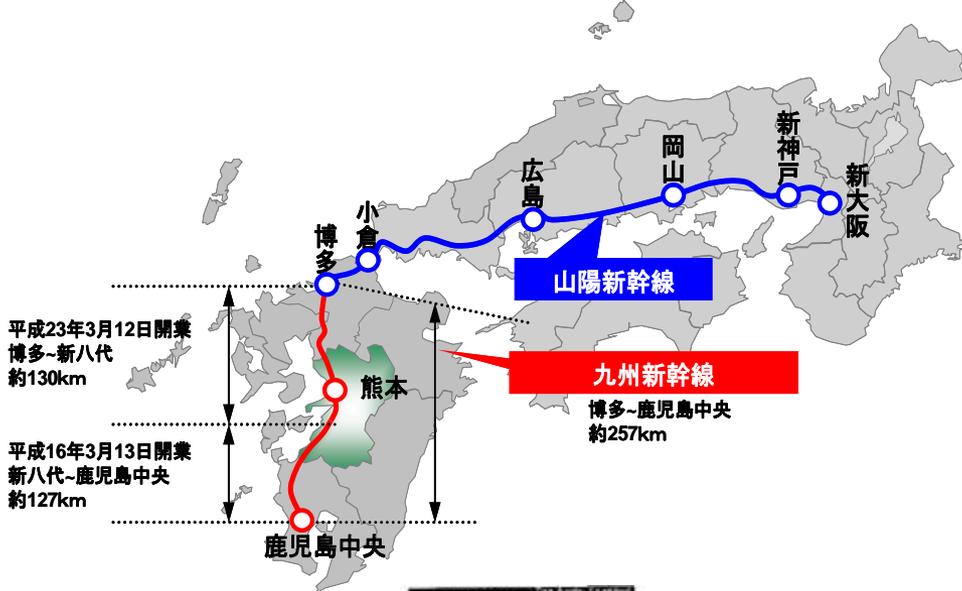
また、白川の開放的な眺望を生かし、白川堤岸のコンクリート壁上部に「ワンクリート板（幅5m）」を設け、市民がパラソルやイスを持ち込み、食卓などができるテラスとして使用できるものにする。道路幅員約100m、工事費は約1億5千万円。整備ペースは県が負担する。回廊に合わせ、坪井川沿いに桜を植樹する計画もある。（川崎雄一）

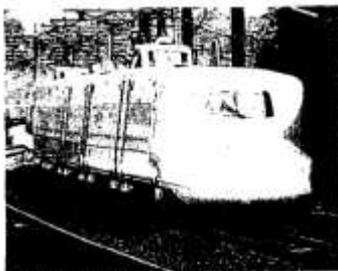
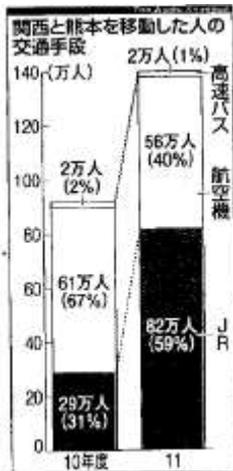
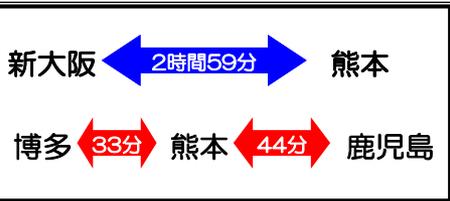
# ◆新幹線開業・駅周辺の公共事業等の効果

- ① 交流人口
- ② 民間開発動向
- ③ くまもと森都心プラザ来館数
- ④ 電停乗降客数
- ⑤ 主要宿泊施設の宿泊客数

# ①交流人口 ～九州新幹線開業後の交流人口の増加～



※新幹線「みずほ」の停車駅を記載



全線開業によって関西-熊本間の利用者が大幅に増えた九州新幹線-福岡県宮若市



全日空は新幹線開業後に便数を増やした=熊本空港

## 県推計 比率3対7→6対4に

新幹線を利用した場合、熊本-新大阪は最速2時間58分、普通料金で1万7510円が必要だ。一方、全日空の場合、伊丹空港まで行った場合は1時間5分、普通料金で2万3500円だが、使用機を小型化し、1日4往復から逆に5往復に増便。料金も新幹線の割引運賃(乗車3日即までに購入)と同じ1万4400円からの「特割」(搭乗前日まで購入)を設定した。福岡県熊本支店長は「空の便には時間的なメリットがある。便数を増やして利便性を高めたい」。

九州新幹線の全線開業によって、当初は熊本-関西を結ぶ航空機利用者は大幅に減少すると見込まれたが、実際には10年度の61万人から11年度には56万人と、1割の減少幅にとどまっている。県交通政策課の中川誠課長は「航空便は3〜4割減との懸念もあったが、航空業界には(便数維持など)努力をしてくれた。その効果が出たのだ」と話す。

九州新幹線の全線開業によって、当初は熊本-関西を結ぶ航空機利用者は大幅に減少すると見込まれたが、実際には10年度の61万人から11年度には56万人と、1割の減少幅にとどまっている。県交通政策課の中川誠課長は「航空便は3〜4割減との懸念もあったが、航空業界には(便数維持など)努力をしてくれた。その効果が出たのだ」と話す。

九州新幹線の全線開業後、関西地方と熊本とを往き来する人が主に利用する交通手段が、航空機から新幹線にシフトした。21日、定例県議会の特別委員会と県が推計値を公表した。とはいえ、航空機の利用者数は1割減にとどまり、全体の利用者が前年比で約50万人増えていた。県は「新幹線と空路との相乗効果が出ている」と満足げた。

## 新幹線、空路抜き「快走」

関西へ行き来した昨年度の利用客数

## 交流人口 54%増

新幹線効果 JR利用 3倍に

関西地方と熊本県の旅客流動(推計)

年度	JR	航空機	その他 (8(2%))	合計
2010年度	665	108	8	908千人
2011年度	1717	17	17	1400千人

(単位:千人)

県は21日、2011年「新幹線」や「航空機」の旅客流動効果を発表した。

九州新幹線熊本-鹿児島間の開業効果を測るのが目的で、JR利用者は各新幹線駅の乗降客数をもとに、開業後の3回実施したアンケート結果などから推計した。

一、関西と鹿児島間の旅客流動は1088万人で前年度比33%増加。内訳では航空機の利用が53%を占めており、JR利用者は熊本を下回る63万9千人にとどまった。

また、中国地方との旅客流動を比較すると、熊本県の43万2千人(前年度比16.2%増)に対し、鹿児島県は終着駅効果などもあり55万4千人(同40.7%増)。福岡県とスズ定着している熊本は前年度比29%増(40.2万4千人)にとどまったのに対し、鹿児島県は50%増(270万1千人)だった。

## 関西-熊本

11年度

九州新幹線熊本-鹿児島間の開業効果を測るのが目的で、JR利用者は各新幹線駅の乗降客数をもとに、開業後の3回実施したアンケート結果などから推計した。

# ①交流人口 ～九州新幹線全線開業後の観光面における効果～



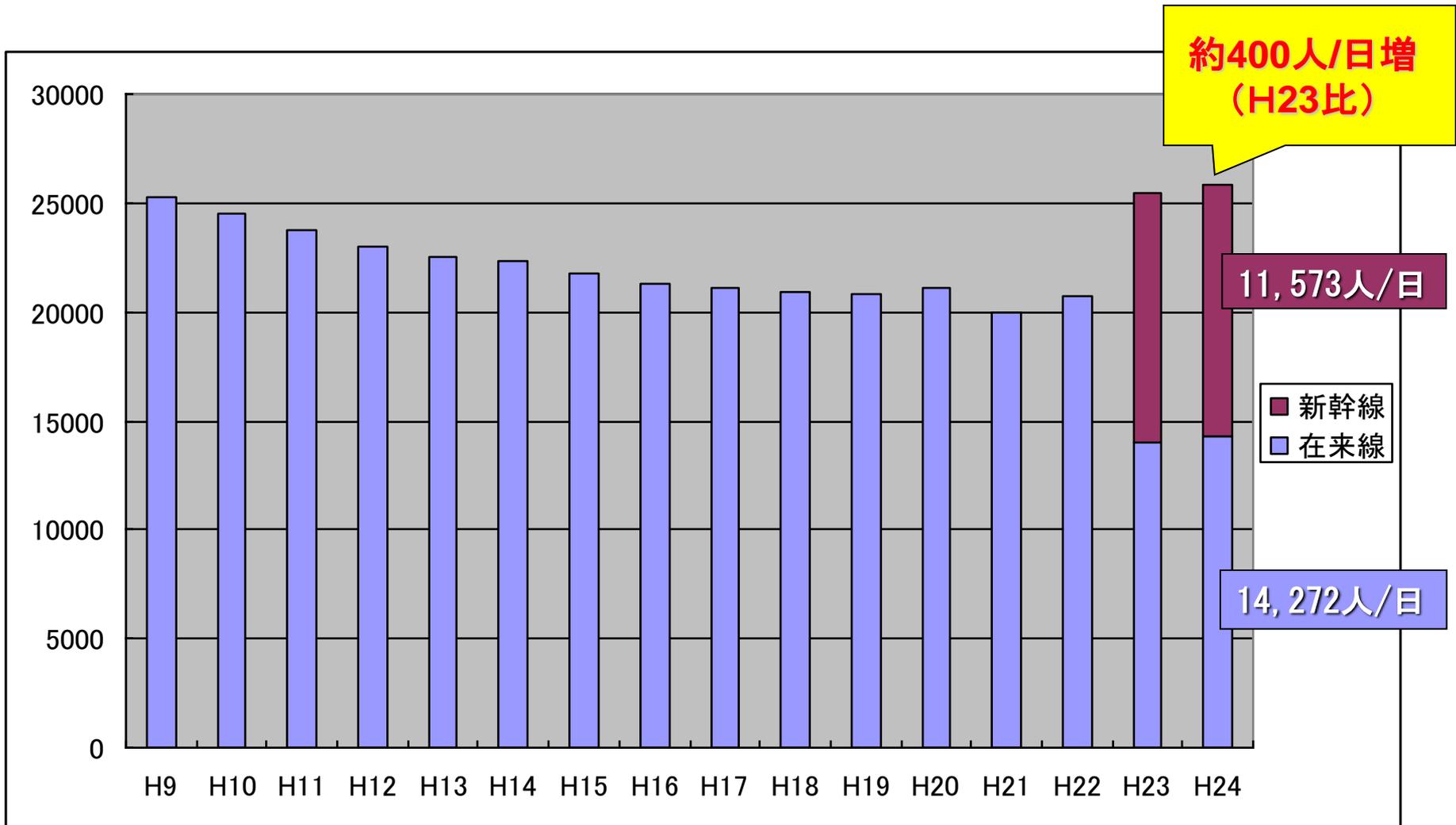
## 九州新幹線鹿児島ルート各駅の1日平均利用客数（人）

（JR九州まとめ）

駅名	目標数 ①	H23年度平均 ②	達成度 ②-①
新鳥栖駅	1,700	1,800	100
久留米駅	2,700	2,700	0
筑後船小屋駅	950	750	-200
新大牟田駅	1,150	800	-350
新玉名駅	900	1,000	100
熊本駅	13,100	13,550	450
新八代駅	1,950	1,950	0
新水俣駅	1,000	1,000	0
出水駅	2,000	2,100	100
川内駅	2,550	2,900	350
鹿児島中央駅	11,650	14,100	2,450

※在来線併設駅は乗り換え客を含む。25

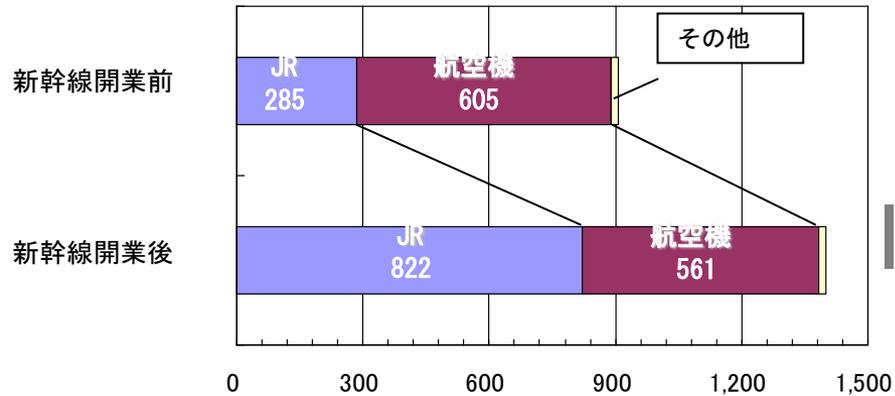
# ①交流人口 ～JR熊本駅の乗降客数の増加～



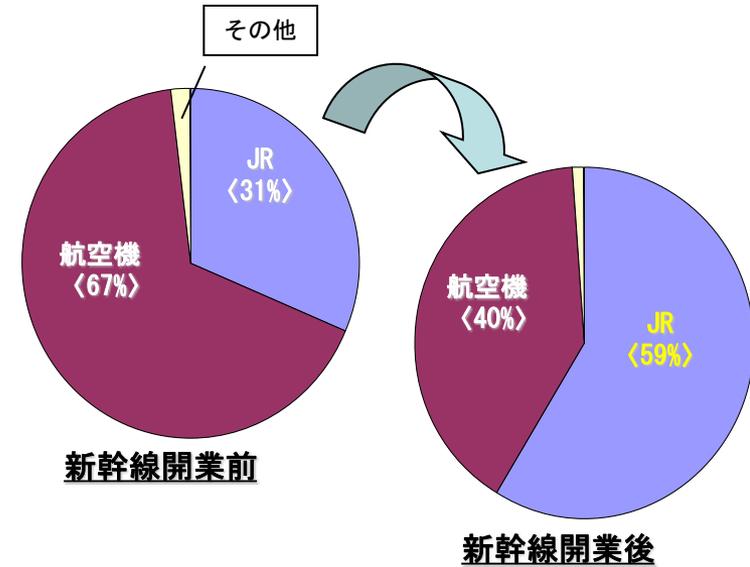
【参考】平成24年度は4月～12月までの平均  
平成23年度は4月～10月までの平均  
平成22年度は新幹線は在来線に含む  
(参考 H23.3月12日～31日までの平均：新幹線12,514人/日 )

# ① 交流人口 ～交通機関別/方面別の旅客数～

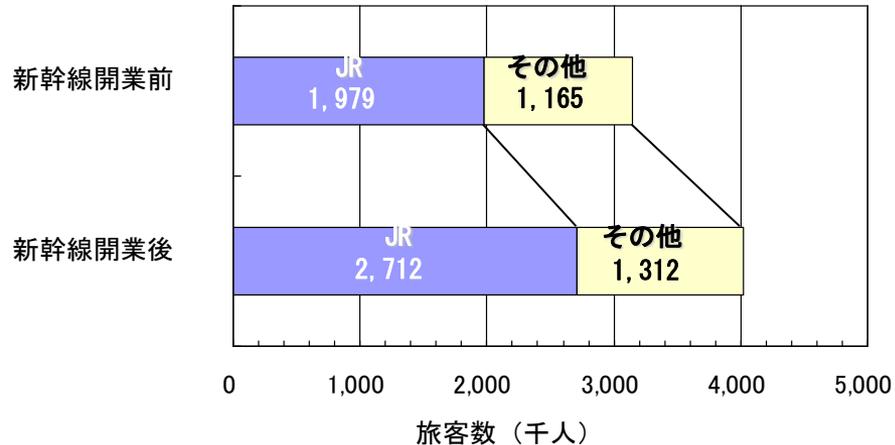
〈熊本—関西〉 約49万人増(約54%増)



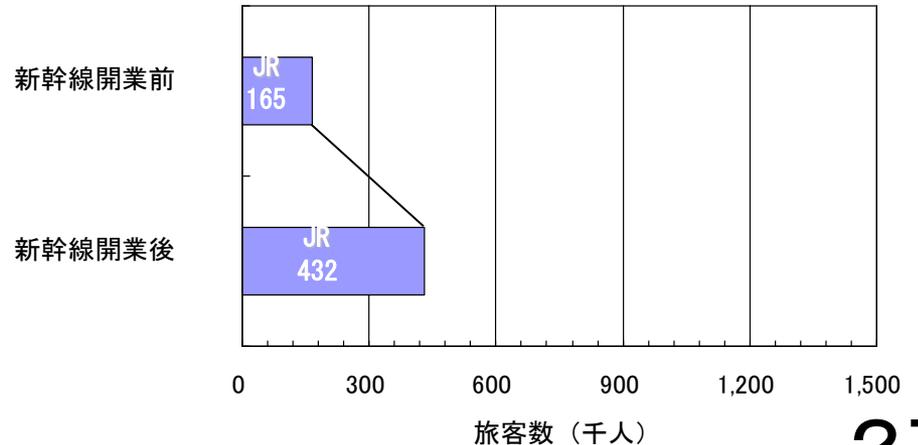
交通機関の  
利用割合は！



〈熊本—福岡〉 約88万人増(約28%増)



〈熊本—中国〉 約27万人増(約162%増)



# ②民間開発動向 ～熊本駅周辺地域の民間開発の動き～ (計画含む)



オフィスビル (労金)

共同住宅

- 森都心プラザ
- 鶴屋フーディーワン
- 熊本第一信用金庫
- 肥後銀行
- 日産レンタカー
- くまもと森都心 郵便局
- ホワイト急便 森都心店
- 森都心歯科クリニック (株)明和不動産
- ロハスクラブ
- 歯科 (矯正歯科)

福祉系複合施設  
(特別養護老人ホーム等)

ダイナム

KAB

税務系専門学校



共同住宅

スーパー

合庁  
A棟  
B棟

● : 商業・業務施設  
● : 共同住宅

0番線跡地

0番線跡地

保育園

立体駐車場 平面駐車場

コミ住

熊本駅西土地区画整理事業区域  
《76条許可申請 H25.1月現在》

建物の種別	件数(戸数)
専用住宅	86(86)
共同住宅	17(457)
店舗兼用住宅	16(44)
その他	34

※その他は、駐車場・店舗・病院など



共同住宅

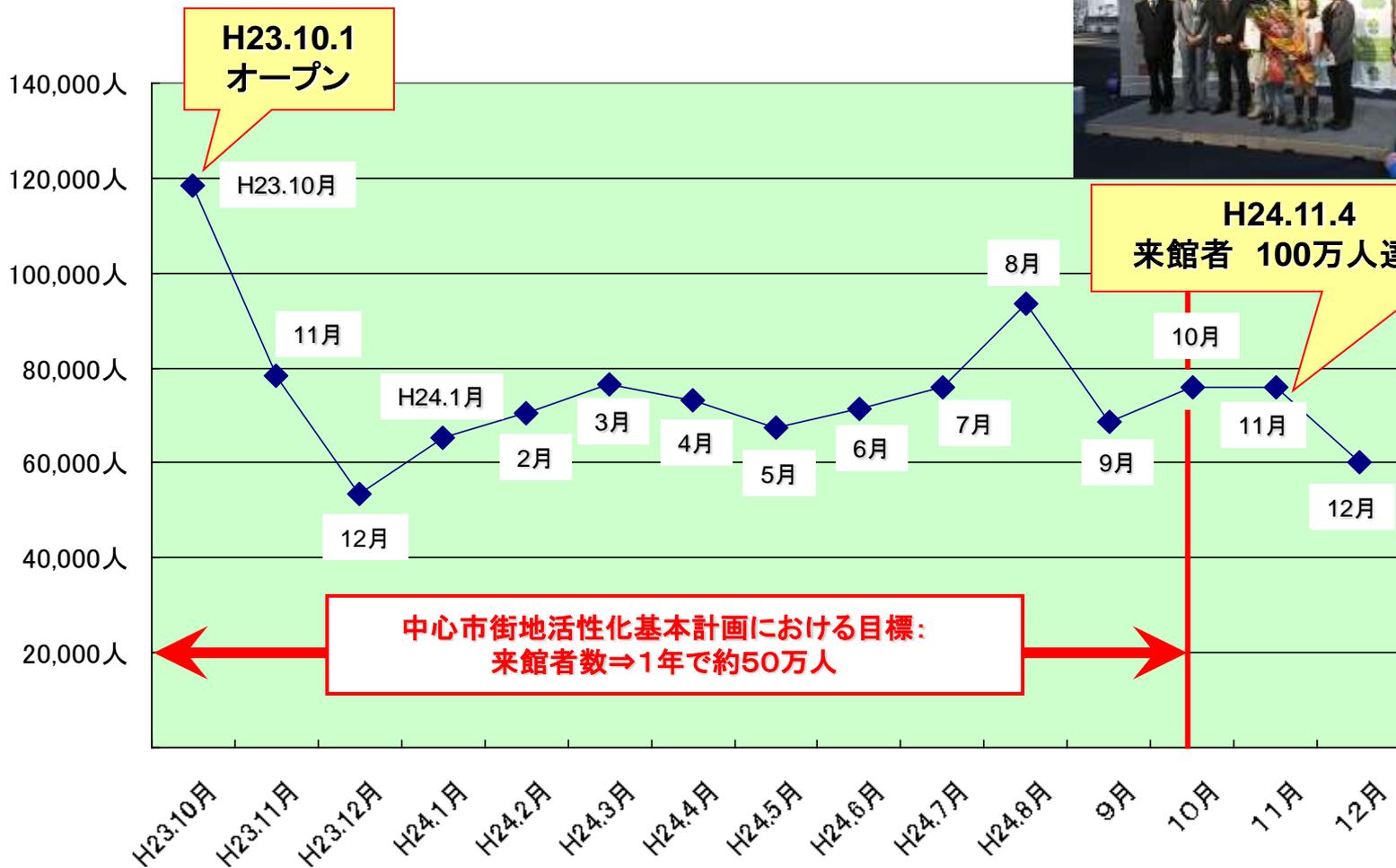


共同住宅

神社

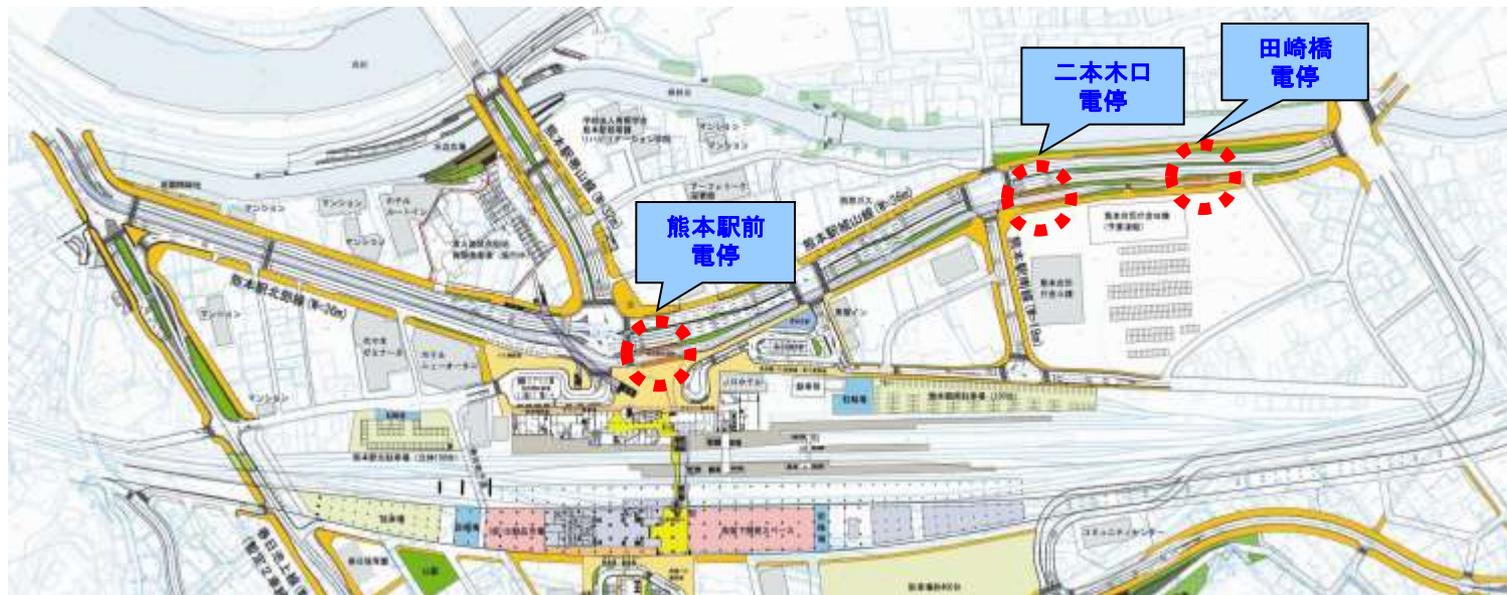


### ③ くまもと森都心プラザ来館数



◆当初想定を上回り、1日平均約2,800人がプラザに来館。

# ④ 電停乗降客数



電停乗降客数

単位:人/日

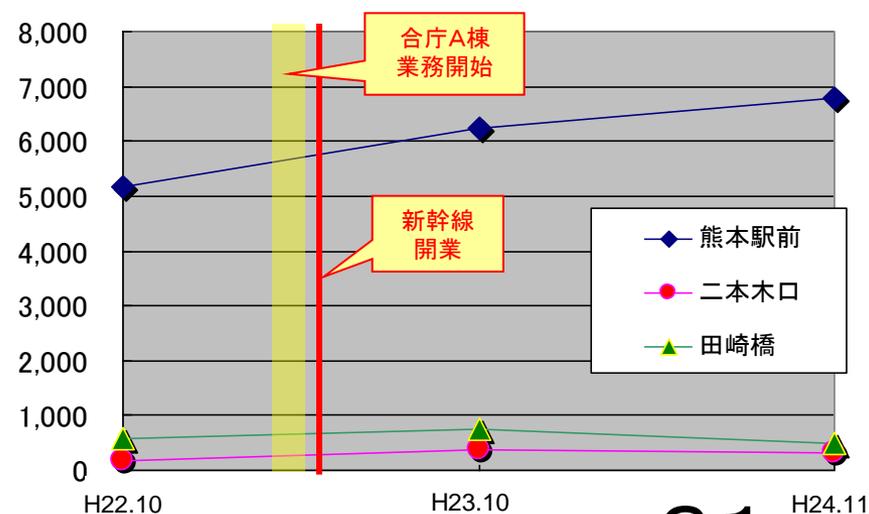
年度	H22年度	H23年度	H24年度
調査日	H22.10.21	H23.10.20	H24.11.8
熊本駅前	5,162	6,226	6,795
二本木口	172	372	317
田崎橋	565	758	490

※熊本市交通局調査

熊本駅前 : 合同庁舎A棟開業、新幹線開業等により利用客数増加  
 二本木口

田崎橋 : 変動はあるものの、利用客数は一定で推移

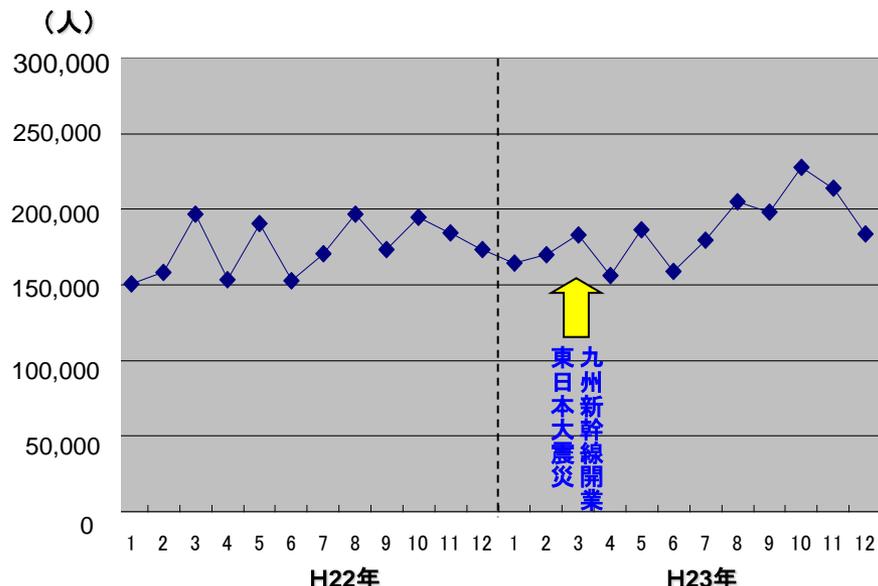
市電乗降客数(人/日)



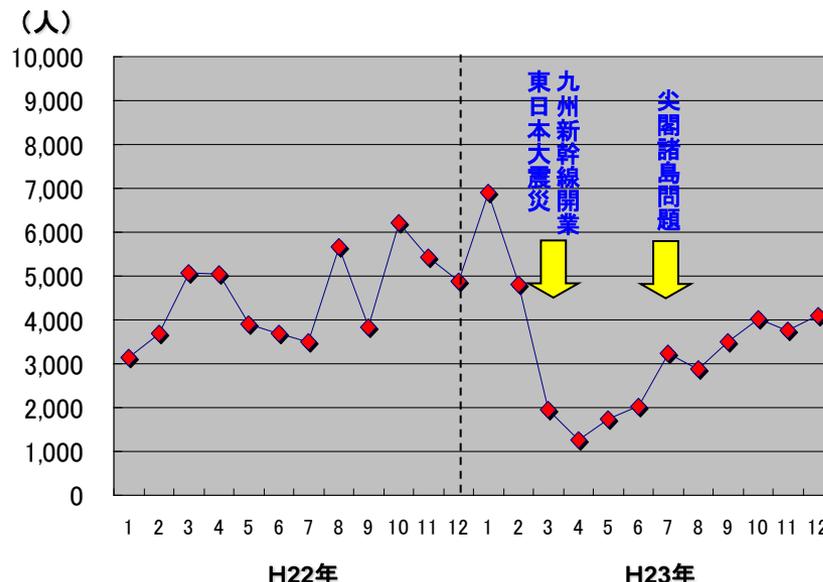
## ⑤ 主要宿泊施設の宿泊客数

※出典:熊本市観光統計書  
 ※最新データ H23.12月まで

### 主要宿泊施設の宿泊客数(全体)



### 主要宿泊施設の宿泊客数(外国人のみ)



#### ◆宿泊客数全体

東日本大震災の影響はあるものの、九州新幹線鹿児島ルート全線開業等により、増加傾向にある。

#### ◆外国人宿泊客数

東日本大震災の影響はあるものの、その後は、増加している。

# ◆新幹線開業後の住民アンケート 調査結果

## ○調査目的

H17.6策定「熊本駅周辺地域整備基本計画」を基に、これまで進めてきた「まちづくり」を再確認・再認識し、今後のまちづくりへの反映を図っていくことを目的とする。

## ○調査区域

- ・春日校区(校区全域)
- ・古町校区(校区全域)
- ・白坪校区(熊本駅周辺整備基本計画区域内)

## 調査区域図



 : 調査範囲

## ○調査概要

配布日:H24.3.8~H24.3.10

回収機関:H24.3.30まで

配布方法:区域内全戸郵送配布

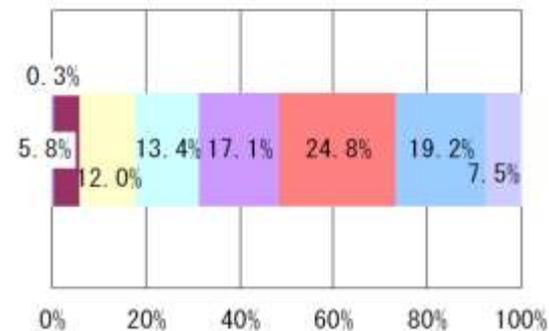
回収方法:郵送回収

配布部数:3,150部

回収数:707部

回収率:22.4%

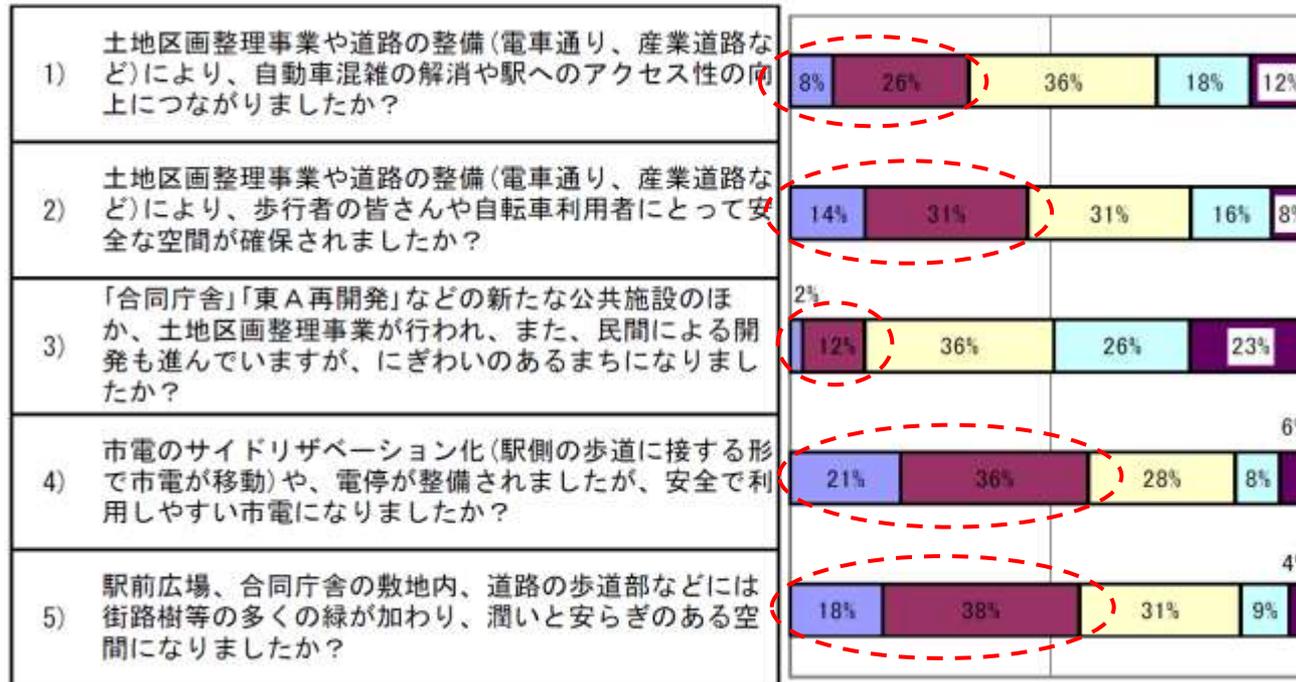
## 《回答者年齢区分》



# 新幹線開業後の住民アンケート調査結果

(実施:H24年3月)

問:これまでの熊本駅および周辺部における施設整備(ハード事業)による効果について、どのように感じていますか？



■ 満足 ■ まあ満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

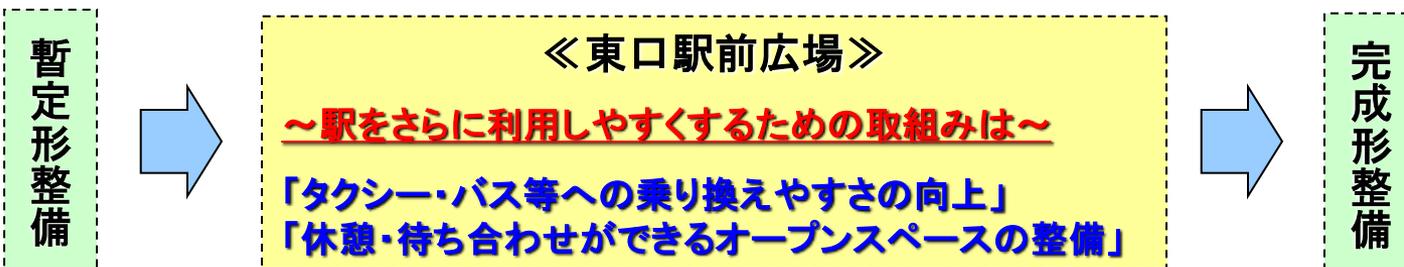
アンケート項目	評価	アンケート結果の考察	今後の対応
「歩行者・自転車利用者の安全な空間確保」 「市電電停の利用しやすさ」 「潤いと安らぎのある空間整備」	○	一定の効果が得られた	在来線高架化後の街路事業の推進 景観計画、デザインガイドの周知による官民一体の良好な景観形成
「アクセス性の向上」	△	道路の連続性など課題あり	連続立体交差事業、その他関連街路事業等の推進 (道路のつながり)
「にぎわいのあるまち」	×	実感が得られていない	連続立体交差事業、その他関連街路事業等の推進 賑わい創出に向けたソフト施策の推進 (地域のつながり)

# 新幹線開業後の住民アンケート調査結果

(実施:H24年3月)

問:熊本駅東口は在来線の高架後に整備が完了しますが、駅を利用しやすくするためにさらに必要な取り組みは何でしょうか?(複数選択)

選択肢		回答数	割合	0%	50%
1.	タクシー・バス等への乗り換えやすさの向上	327	48.4%		48.4%
2.	自家用車でのアクセスしやすさの向上	252	37.3%		37.3%
3.	自転車でのアクセスしやすさの向上	129	19.1%		19.1%
4.	歩行者の安全性の向上	209	30.9%		30.9%
5.	良好な駅前景観の形成	250	37.0%		37.0%
6.	休憩・待ち合わせができるオープンスペースの整備	309	45.7%		45.7%
7.	駅東西のアクセスしやすさの向上	270	39.9%		39.9%
8.	特にない	18	2.7%		2.7%
9.	その他	62	9.2%		9.2%



# 新幹線開業後の住民アンケート調査結果

(実施:H24年3月)

問:仮に駅ビルが整備されると仮定した場合、駅においては、どのような施設が必要だと感じていますか?(3つ選択)

選択肢	人数	割合	0%	50%
1. 銀行・郵便局等の金融機関	182	27.0%		27.0%
2. 病院・保育所等の医療・福祉施設	128	19.0%		19.0%
3. スーパー	315	46.7%		46.7%
4. デパート	351	52.1%		52.1%
5. 飲食店街(ファーストフード、喫茶店、レストラン等)	399	59.2%		59.2%
6. ビジネスホテル、シティホテル	29	4.3%		4.3%
7. 映画館、ボーリング場	125	18.5%		18.5%
8. スポーツクラブ、フィットネスクラブ	61	9.1%		9.1%
9. コンベンション施設(大規模な会議やイベントが開催できる施設)	63	9.3%		9.3%
10. 文化ホール	55	8.2%		8.2%
11. コミュニティ施設(コミュニティセンターのように地域住民が利用する施設)	71	10.5%		10.5%
12. オフィスビル	31	4.6%		4.6%
13. 特に必要ない	16	2.4%		2.4%
14. その他	42	6.2%		6.2%

《駅ビルに求められているもの》

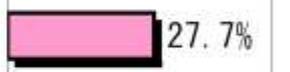
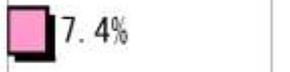
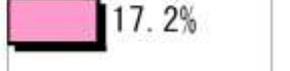
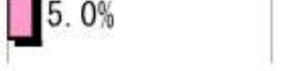
## 商業施設

- ・飲食店街(ファーストフード、喫茶店、レストラン等)
- ・デパート
- ・スーパー

# 新幹線開業後の住民アンケート結果

(実施:H24年3月)

問:現在お住まいの地域において、今後、どのようなまちづくりを進めるべきですか？

選択肢		人数	割合	0%	50%
1.	日常の買物に不自由しないようスーパー等を誘致する。	378	54.2%		54.2%
2.	熊本駅の近接性を生かし、広範囲から集客が期待できる大型商業施設を誘致する。	322	46.1%		46.1%
3.	住みたくなる、住みやすい住環境を維持する。	193	27.7%		27.7%
4.	地域コミュニティを活発化するため、お祭り・イベント等を地域住民主体で開催する。	52	7.4%		7.4%
5.	働く人を増やし、まちの交流人口を増加させるため、新たに働く場を誘致する。	141	20.2%		20.2%
6.	良好なまちなみ景観の形成に向けて官民一体となって取り組む。	120	17.2%		17.2%
7.	その他	35	5.0%		5.0%

《地域に求められているもの》

**商業施設**

- ・スーパー等
- ・大型商業施設

# 新幹線開業後の住民アンケート結果

(実施:H24年3月)

問:現在お住まいの地域において、住民参加のまちづくりについてどうお考えですか？

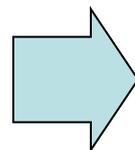
選択肢	人数	割合	0%	50%
1. 非常に興味があり、参加したい	89	13.0%	13.0%	
2. 興味はある	391	57.1%	57.1%	
3. どちらともいえない	166	24.2%	24.2%	
4. 興味がない	29	4.2%	4.2%	
5. その他	10	1.5%	1.5%	
無回答	7	—		
無効回答	15	—		
有効回答	685	100.0%		

## 《まちづくり参画への意識》

非常に興味があり、参加したい:13%

興味はある:57.1%

⇒『7割程度が興味をもっている。』



## 《今後の対応》

地域住民主体の活動展開に向けて、まちづくりに対する意識を高めていく。

### ◆現在実施中の活動

- ・熊本駅周辺地域まちづくり勉強会 (春日・古町・白坪校区)
- ・古町校区まちづくりワークショップ

# 各種事業の今後の予定

- ◆連続立体交差事業
- ◆今後の各種事業のスケジュール
- ◆新熊本合同庁舎B棟・付帯施設
- ◆熊本駅周辺白川かわまちづくり
- ◆在来線高架後の事業
- ◆ソフト施策

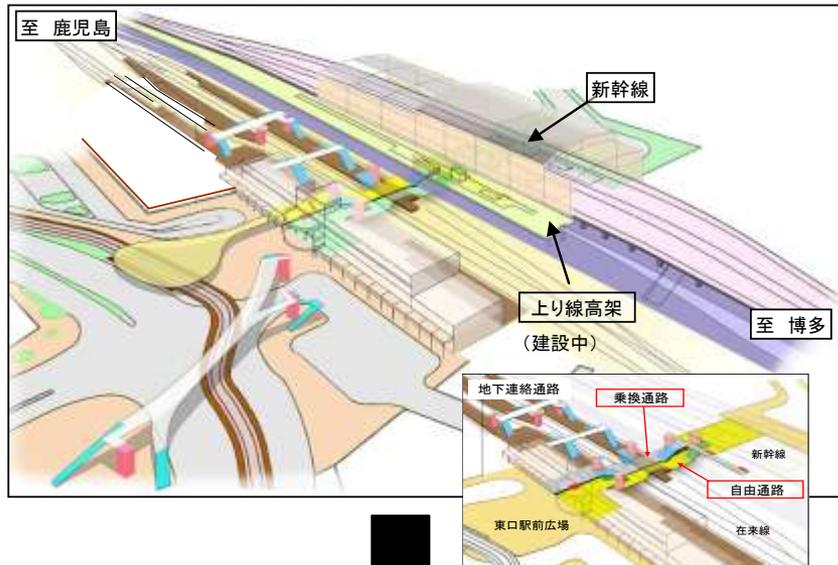
# ◆連続立体交差事業



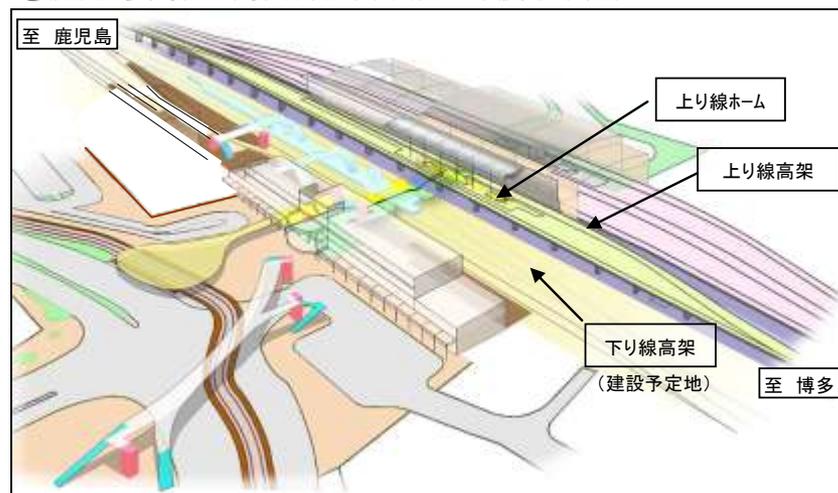
# 連続立体交差事業

## 熊本駅部切替イメージ

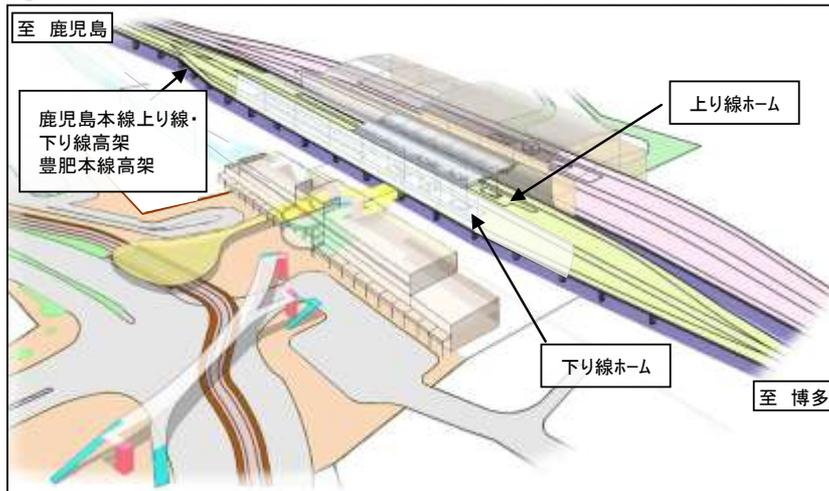
新幹線開業時(平成23年春)



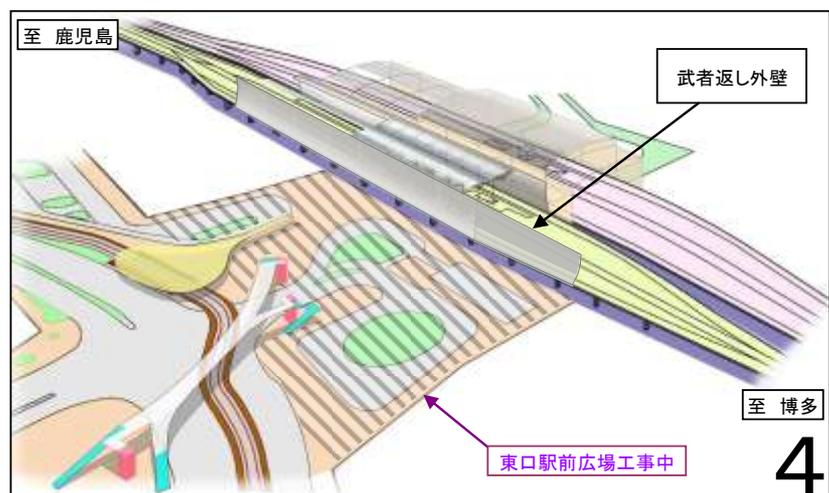
①鹿児島本線上り線切替時(平成26年度末予定)



②鹿児島本線下り線、豊肥本線高架切替時(平成29年度末予定)



③連立事業完了時(平成30年度末予定)



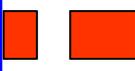
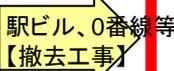
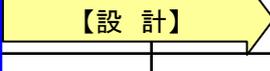
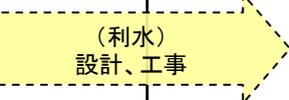
# ◆今後の各種事業のスケジュール

# 今後の各種事業のスケジュール

新幹線全線開業

現在 (H25.2月)

在来線高架完了

年度	(23) 2011	(24) 2012	(25) 2013	(26) 2014	(27) 2015	(28) 2016	(29) 2017	(30) 2018	(31) 2019	(32) 2020	
九州新幹線											
東西連絡地下通路	 ※東西連絡通路(地下)供用										
在来線高架化			 【工事】						 駅ビル、0番線等 【撤去工事】		
東口駅前広場			 【設計、認可等】						 本整備【工事】		
駅西土地区画整理			 【工事】								
駅周辺アクセス道路	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●熊本駅城山線、春日池上線、熊本駅南線</li> <li>●合庁南側市道、田崎一丁目第1号線(田崎本町)、春日2丁目二本木2丁目第1号線(二本木2丁目)</li> </ul>										
新熊本 合同庁舎	B棟	 【設計】		 【工事】							
	付帯施設	 【設計】		 【工事】							
白川河川敷整備 (かわまちづくり)			 協議会・登録申請		 (治水)設計、工事		 (利水)設計、工事				

東口駅前広場等  
駅周辺都市基盤整備完了

# ◆新熊本合同庁舎B棟・付帯施設

# 新熊本合同庁舎整備（B棟・付帯施設）



**B棟完成イメージ**

**付帯施設イメージ(※デザイン調整中)**



**B棟**  
8官署 職員 約800名

熊本行政評価事務所、熊本国税局、熊本国税不服審判所、熊本西税務署、熊本統計・情報センター、自衛隊熊本地方協力本部、長崎税関八代税関支署熊本出張所、九州地方環境事務所

**付帯施設**  
物販店舗(スーパーキッド)  
売場面積: 約1,000㎡



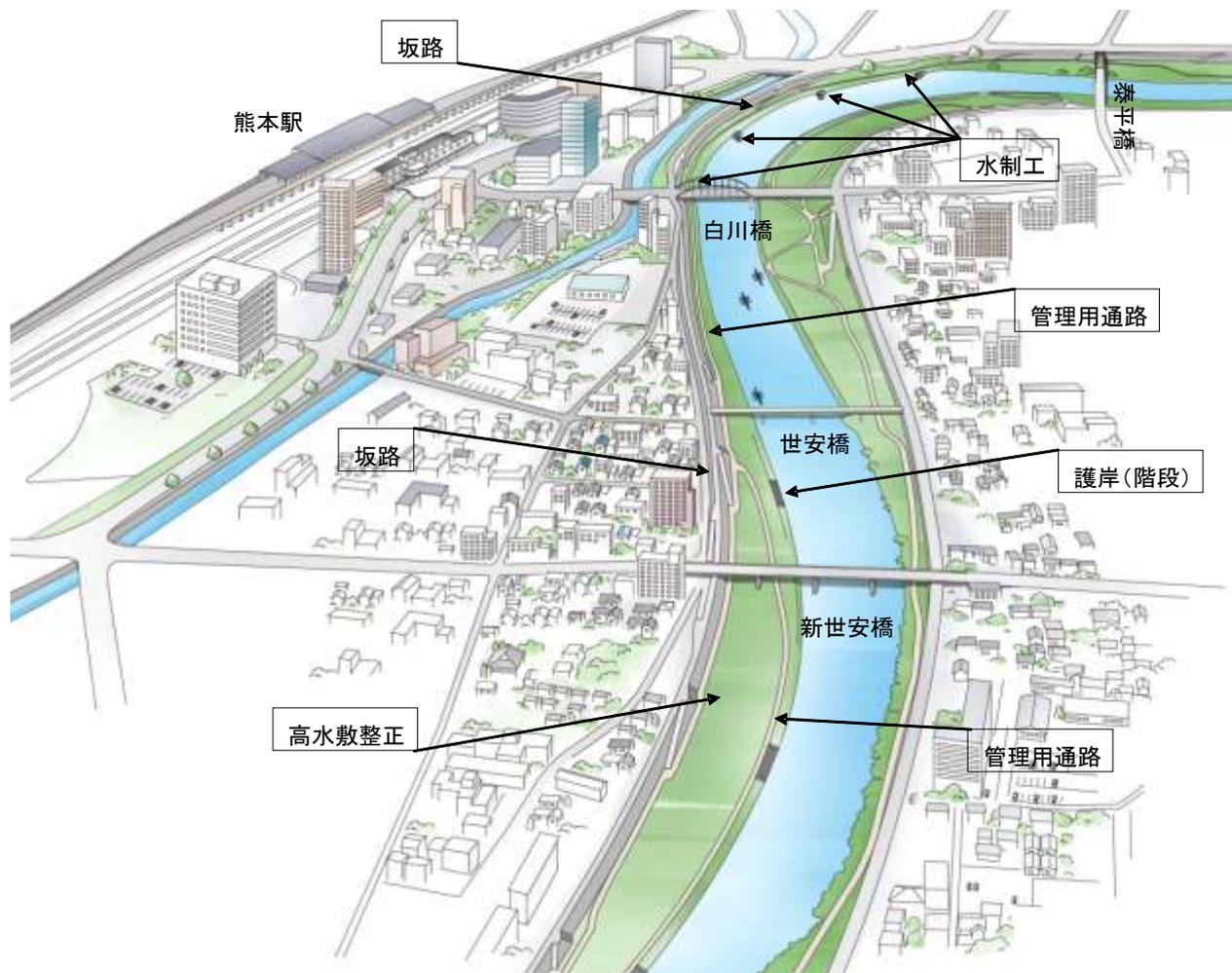
# ◆熊本駅周辺白川かわまちづくり

## 《熊本駅周辺白川かわまちづくり協議会》

【地域】	【官公庁】
古町校区自治協議会	九州地方整備局熊本河川国道事務所
古町校区まちづくり委員会	九州地方整備局熊本河川国道事務所調査第一課
古町校区まちづくりワークショップ	九州地方整備局熊本河川国道事務所地域連携課
古町校区自治連合会	九州地方整備局熊本河川国道事務所白川出張所
五福校区自治協議会	熊本南警察署生活安全課
五福校区まちづくり委員会	熊本県河川課
五福校区自治連合会	熊本市教育委員会指導課
【小学校】	熊本市西区役所まちづくり推進課
古町小学校	熊本市中央区役所まちづくり推進課
古町小学校PTA	熊本市都市建設局河川公園課
古町小学校子ども会	熊本市都市建設局土木管理課自転車対策室
五福小学校	熊本市都市建設局熊本駅周辺整備事務所
五福小学校PTA	【事務局】
五福小学校子ども会	九州地方整備局熊本河川国道事務所
【地元企業等】	熊本市都市建設局熊本駅周辺整備事務所
森都心プラザ	建設環境研究所
熊本朝日放送株式会社	西日本科学
社会福祉法人熊本県コロニー協会	

# 白川熊本駅周辺かわまちづくり

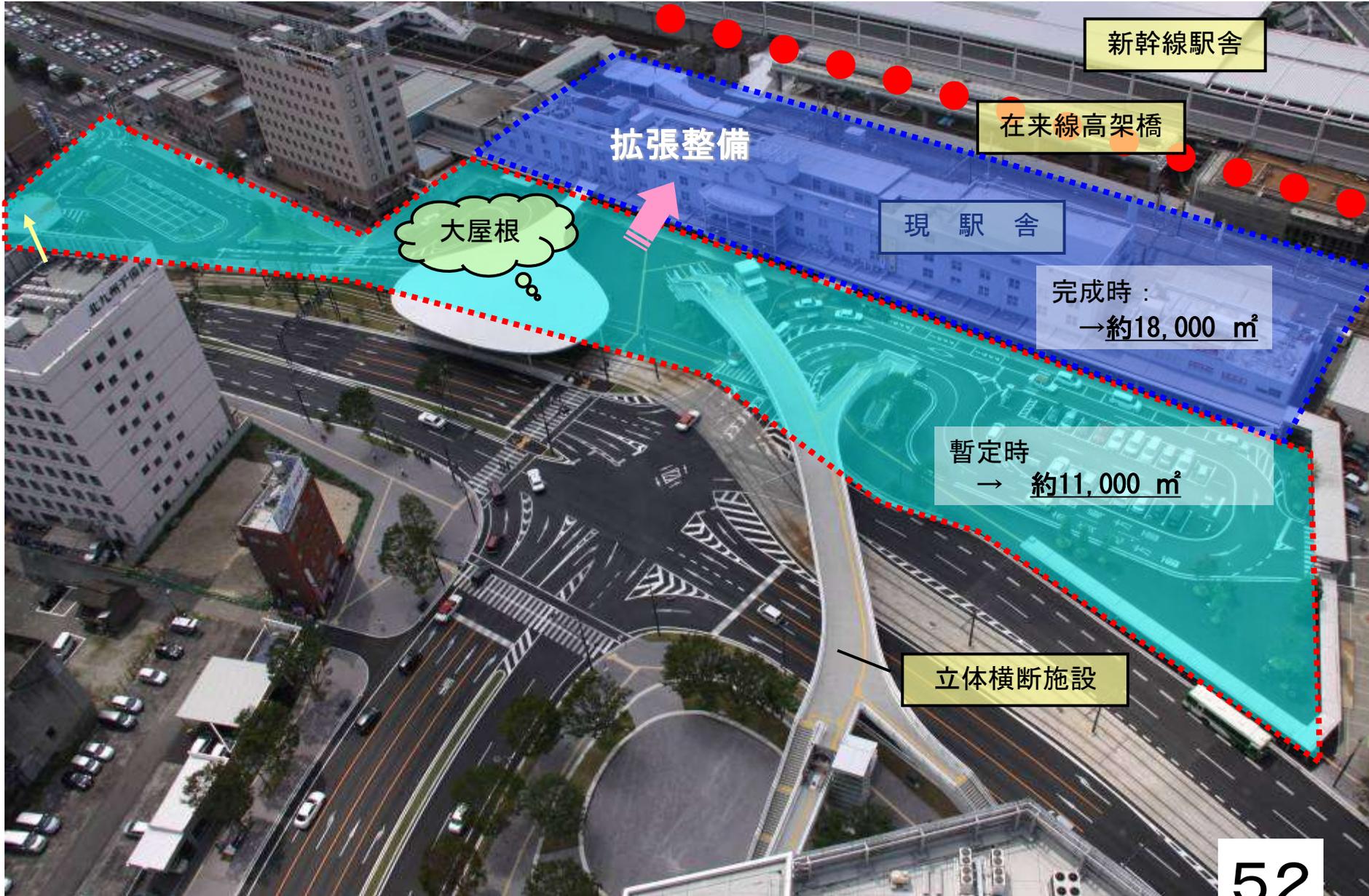
## 《熊本駅周辺かわまちづくり整備イメージ》



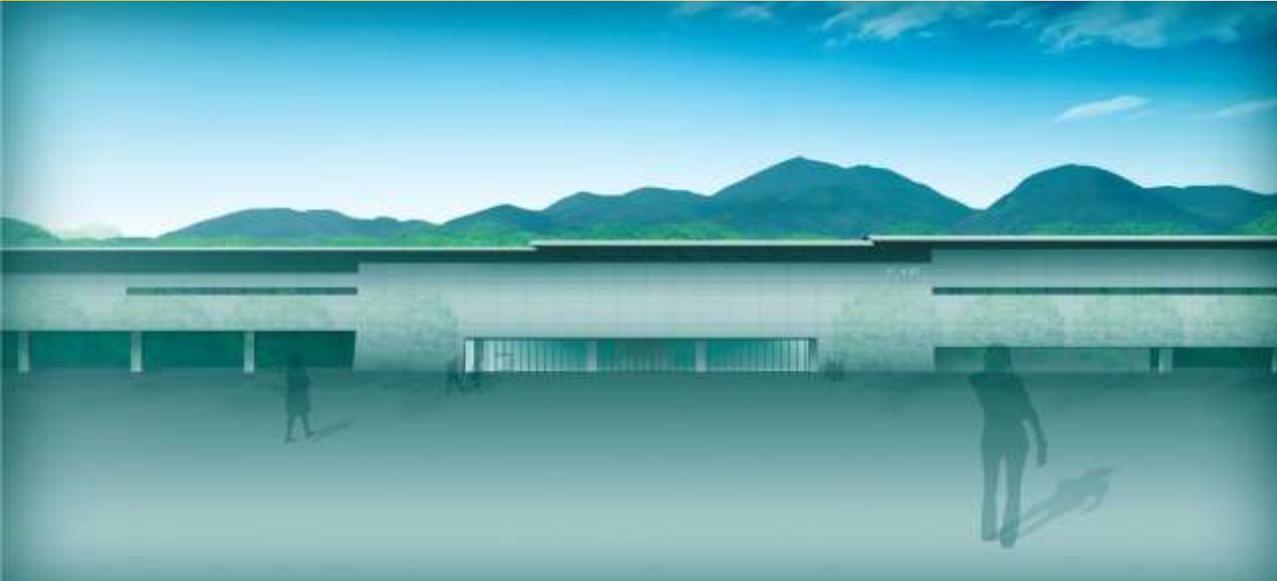
- ※国・市の役割分担、事業スケジュール等は現在調整中。
- ※H25年より治水に関する護岸工事などを国が先行して整備予定。
- ※H25年に「実行委員会」を設立し、「使い方、管理体制」等を検討する。

# ◆在来線高架後の事業

# 白川口（東口）駅前広場〈完成形整備〉

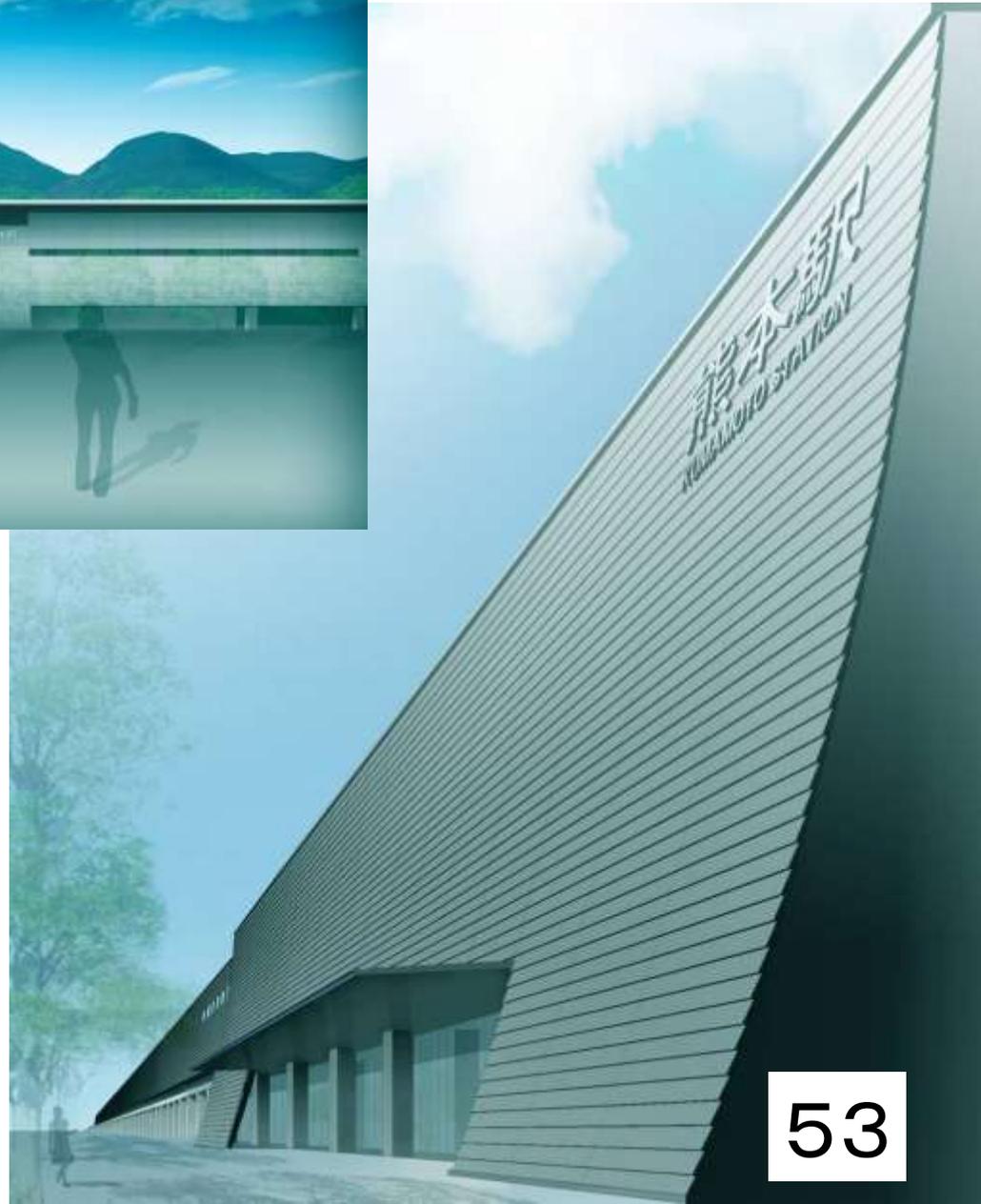


# 在来線駅舎

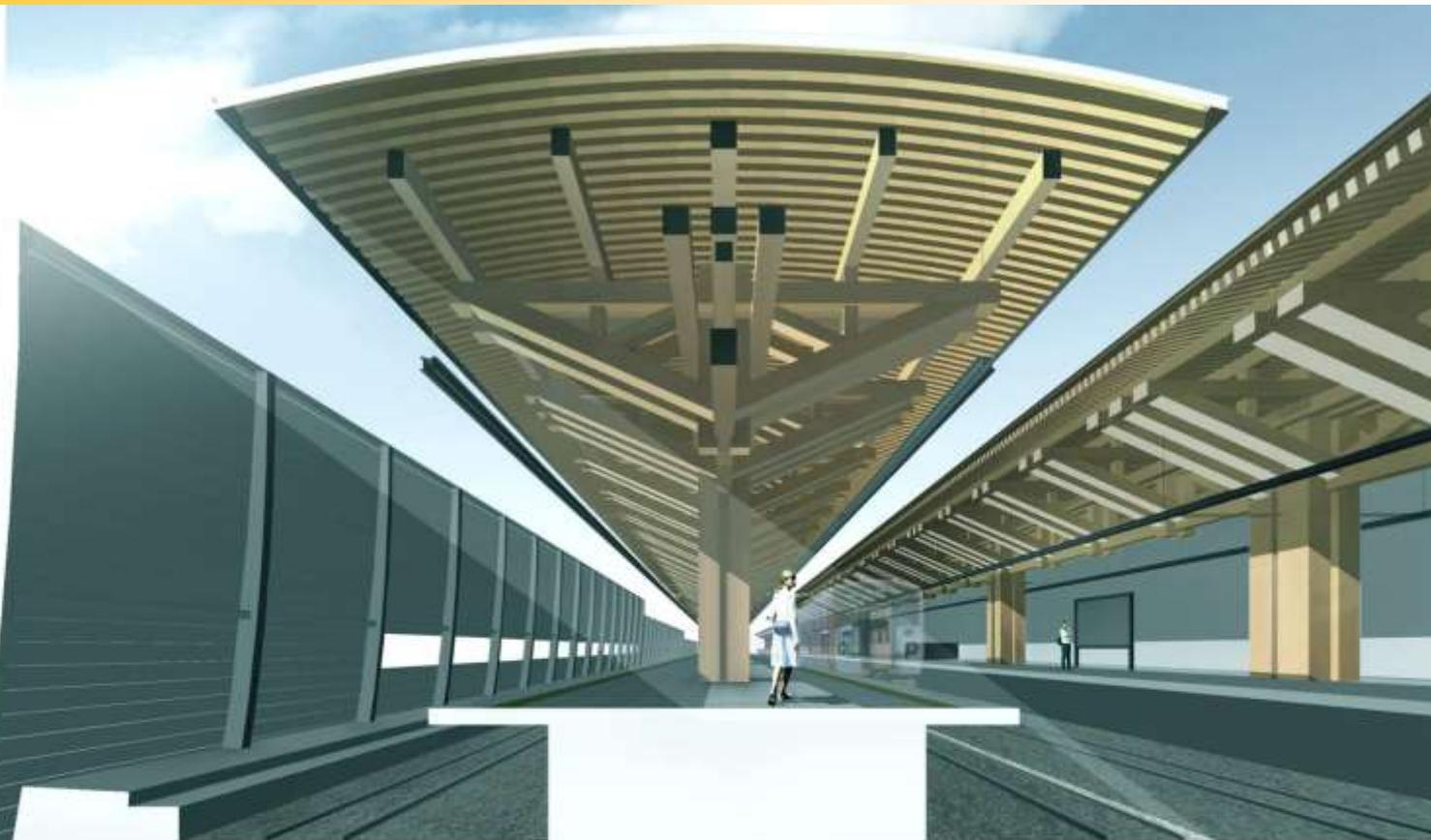


外壁は、熊本城の石垣にみられる  
「武者返し」の反りを取り込み、  
熊本の顔として相応しい、強く美  
しい威風を表現

設計 安藤忠雄氏

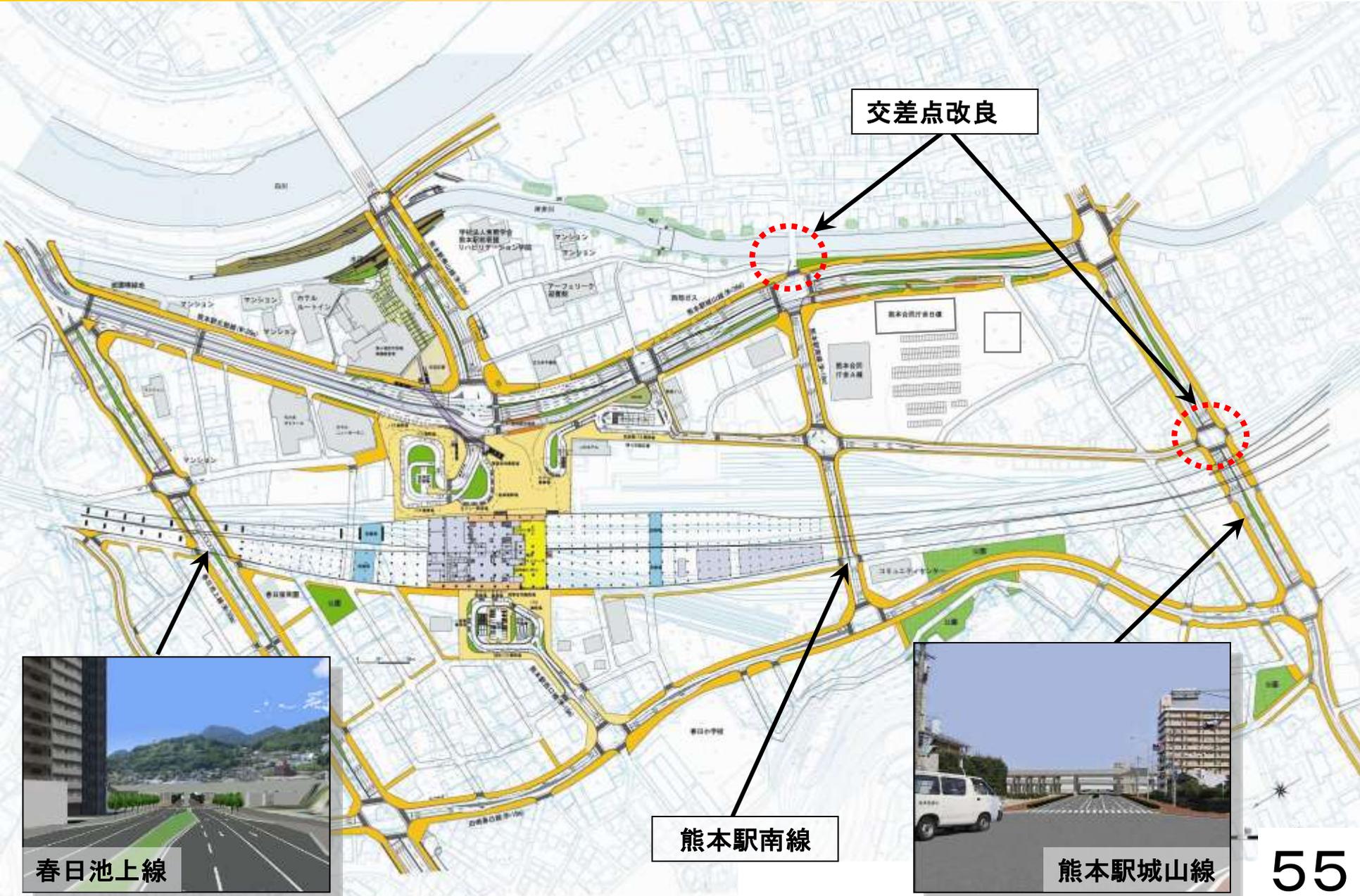


# 在来線駅舎



ホームの上屋は、夏目漱石に「森の都」と評させた熊本の木立の下にいる感覚を、木組みのヴォリュームを強調することで表現

# 在来線高架後の事業

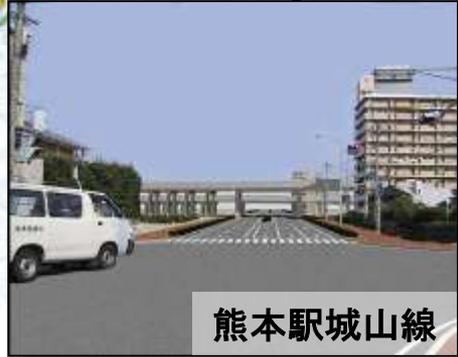


交差点改良



春日池上線

熊本駅南線

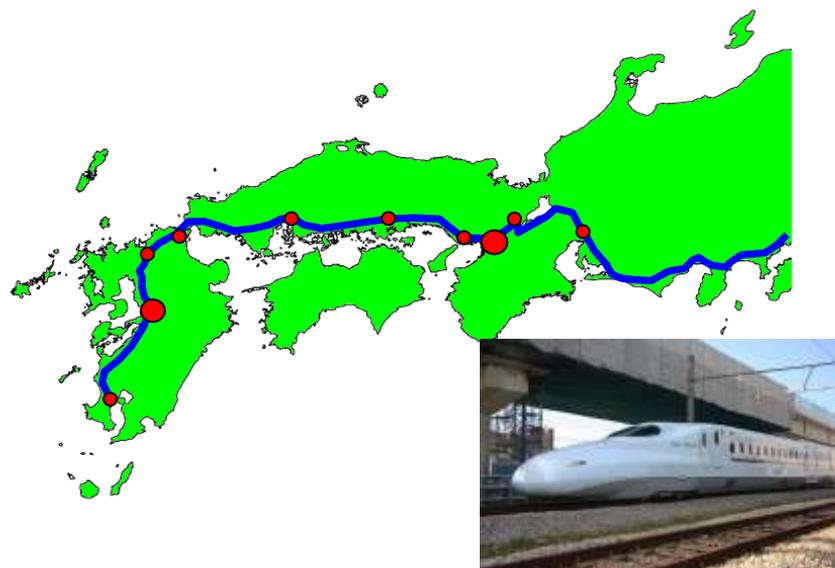


熊本駅城山線

# ◆ソフト施策

熊本駅周辺地域まちづくり勉強会

九州新幹線全線開通



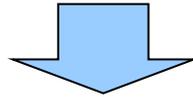
熊本駅周辺のハード面の整備



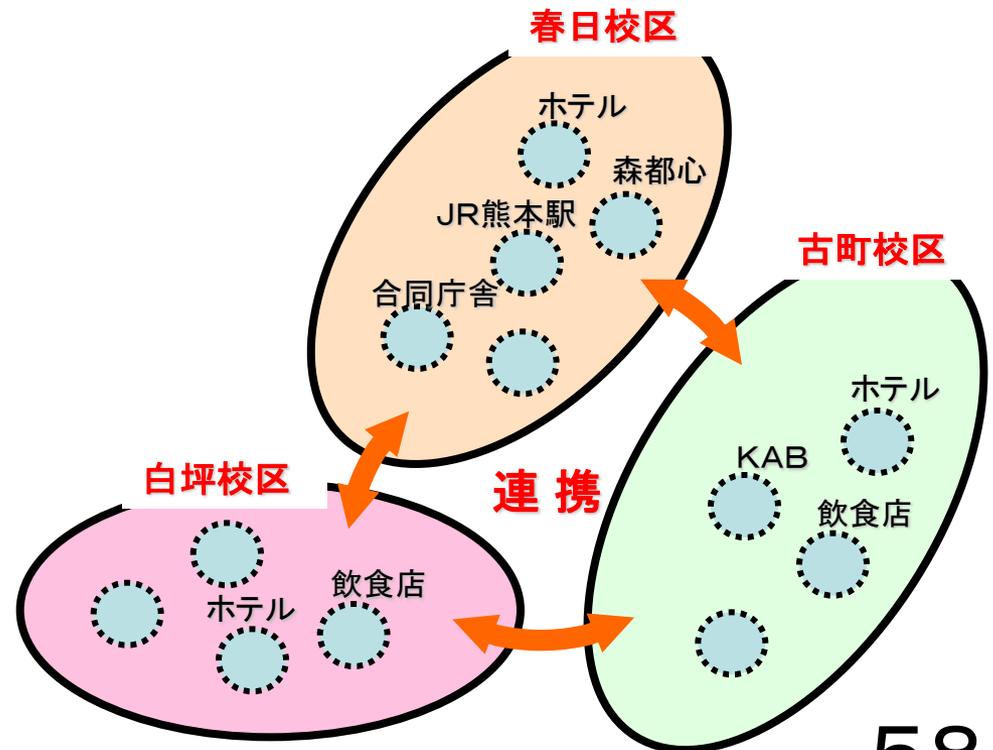
チャンス1: 県外からの観光客などの増加  
チャンス2: 駅周辺の定住人口の増加

このチャンスを活かしたい！！

駅周辺地域の各地区(春日、古町、白坪)の連携・  
区域内の拠点(企業等)間の連携



駅周辺地域独自の取り組み



## 熊本駅周辺地域まちづくり勉強会

(H24年7月取組み開始)

(春日・古町・白坪：3校区)

### 春日校区部会

### 古町校区部会

### 白坪校区部会

#### 地元

- 校区自治協議会  
自治協議会会長  
まちづくり委員会

- 商店街・商栄会等  
熊本駅前商店街振興会  
熊本駅前繁栄会  
熊本駅南繁栄会

#### 地元

- 校区自治協議会  
自治協議会会長  
まちづくり委員会

- 商店街・商栄会等  
二本木大通商栄会  
二本木本通繁栄会

#### 地元

- 校区自治協議会  
自治協議会会長  
自治協議会

#### ○地元企業

- 熊本朝日放送
- 森都心プラザ
- JR九州
- ホテルニューオータニ熊本

#### 行政

- 駅事務所 **【事務局】**
- 西区役所まちづくり推進課

※随時、メンバー追加

#### 各構成員に期待するもの

【自治会】

【企業・商工団体】

【行政】

地域情報や地元の歴史の把握・蓄積、人的ネットワーク

メディア・発想力・企画力、ノウハウ、商業ネットワーク

行政手続き、行政ネットワーク、まちづくりネットワーク

## 平成24年7月 第1回勉強会開催

### ◆勉強会開催趣旨等説明

- ・これまでの行政側の取組み・今後の取組み
- ・新幹線開業後の変化
- ・駅周辺の連携の必要性
- ・他都市事例紹介

協議会に発展  
することを確認

### ◆意見交換

- ・各校区自治協議会、商栄会等の取組み・課題だし

<メンバーに個別ヒアリング⇒活動内容・課題等の抽出>

## 平成24年10月 第2回勉強会開催

### ◆地元の活動紹介

「春日人おてもやん」  
春日校区まちづくり委員会

- ◆各校区・商栄会等の活動紹介、地区の現状・課題等紹介
- ◆グループワークショップ(各校区別)
  - ・自分の住む地区の現状・課題について再認識

## 平成24年11月 第3回勉強会開催

### ◆全体でワークショップ

- ・3校区の連携の方向性について検討(共同イベントなど)
- ・現メンバーでの活動の限界について
  - ⇒西区を引っ張るのは3校区
  - 地区を盛り上げて、自力で課題を解決していきたい
  - 一方で、現メンバーは、今の活動で手一杯の状況
  - ⇒PTAなど新規メンバーの増員の必要性の確認

## 平成24年12月 第4回勉強会開催

### ◆全体でワークショップ

<3校区で取り組むべきテーマについて>

- ①3校区の連携強化(さらに交流を広げるために)
- ②人が集まる駅前広場の検討(東口駅広の利活用)
- ③人が集まる駅周辺地域(駅周辺地域の回遊性向上)
- ④高架下の利活用(地元でやれること)

現在

<まちづくり活動に積極的な人への声掛けのお願い>

## 平成25年2月 第5回勉強会開催(予定)

【案】

### ◆今後の進め方の確認

- ・テーマを複数設定する
- ・各テーマごとにプロジェクトチームをつくる
- ・各テーマ間の関係性を意識しつつ、1つのテーマごとに検討する順序・期間を設定する。
- ・メンバー(新規参加者を含む)は、興味のあるテーマについて参加し、議論を深める。
- ・定期的に、全員で集まり、報告し、共通認識を持つ。

## (仮称)熊本駅周辺地域まちづくり協議会

### 自治会

- ・自治協議会
- ・市民団体
- ・地元有志

### 商工団体

- ・商工会議所
- ・繁栄会
- ・商栄会
- ・振興会
- ・個人商店

### 企業

- ・KAB
- ・JR九州
- ・森都心 など

### その他協力者

- ・大学
- ・市民有志 など

### 行政

- 国: 合同庁舎  
河川管理者
- 県: 河川管理者
- 市: まちづくり関係  
防犯関係  
交通関係  
道路管理者  
河川管理者  
産業政策関係  
観光政策関係

- +
- 県警: 交通管理者

春日校区部会

古町校区部会

白坪校区部会

### 各実行委員会

おもてなし部会

回遊性向上部会

イベント実施部会

情報発信部会

交流活性化部会

〇〇部会

支援

■勉強会の進め方（案）

